

22. 3. 21

北中(朝・夕)
国際交流課

拠点15カ所

24時間レンタル自転車「アヴィレ」

富山市街地で発進

富山市の中心市街地で二十四時間、自転車を借りたり返したりできるレンタル事業が二十日、始まった。フラ

ウエリア フランス・パリで2007年7月に始まったレンタル自転車の共同利用システム。料金は、富山市と同じで30分まで無料。パリ市内1451カ所で約2万600台を貸し出す。シクロシティの親会社であるシェーシードゥコー社が運営する。同社はフランスを中心に、スペインやベルギーなど欧州64都市で4万2000台以上を提供している。



ンス・パリの自転車活用システム「ウエリア」を日本で初めて導入。二酸化炭素(CO₂)排出量抑制のため、欧州で広がる事業が日本でも拡大の「サイクル」を掲げるか注目される。

レンタルできるのは、JR富山駅前など市内十五カ所で、計百五十台を設置。借りた場所以外へも返却できる。

事業の愛称は「アヴィレ」。フランス語で

ミツバチを表す「アベイル」を合わせた造語で、ミツバチが花から花に移るように自転車が市街地を走り回る姿をイメージした。

登録したICカードかメンバーカードでロックされている自転車を解錠するなどして利用する。基本料金は毎月五百円か七百元で、レンタル料は三十分まで無料。六十分までは二百円で、その後は三十分ごとに五百円かかる。

渋滞解消や空筒化が進む中心市街地の活性化

化策にも期待され、富山市で成功すれば一気に全国に普及する可能性も。

富山市の登録数は二十日現在、五百人以上。運営会社は「シクロシティ」(東京)。(永井響太)

長崎県対馬市

海峡を挟んで約50km先に韓国。長崎県の離島・対馬は、まさに「衣帯水の国境の島だ。江戸時代は日本との文化の橋渡し役、朝鮮通信使の一行が行き交った。史実を再現したいイベントは近年盛んで、韓国人観光客が増え国際交流は活性化の柱だ。ただ、進出する韓国資本への反発や韓国から漂着するごみ問題もあり、近き故の難問も抱える。

週末にぎわう

対馬の海の玄関口となる厳原港。週末になると韓国人の釣り客や登山客、家族連れでにぎわう。1泊2日で行ける最も近い外国とされ、高速船が就航した1999年から急増。ビザ免除やウォン高の追い風を受け、2008年には過去最高の7万2千人を突破した。町には韓国人があふれ、観光バスが駆け巡った。特需に沸いた飲食店や宿泊施設もあり「ビジネスチャンス」と、経営に乗り出した韓国人も少なくない。空き家を買って民宿にしたり、海上自衛隊基地に隣接する旧真珠養殖場を買収しリゾート施設を始めたりする韓

近き故、難問も抱える

韓国マネー、貴重な収入

地域再生

人集うまちに

国企業も現れた。県は、07年の対馬市での韓国人による消費額を21億6500万円と推計した。内訳は交通費1億7千万円、宿泊費4億9500万円、飲食費(娯楽費含む)6億8100万円、土産代8億1900万円。半分近くが地元経済に直接回ったとみ



られ、貴重な収入源に成長した。だが、08年の世界的不況が急ブレーキをかけた。円高も重なり09年の韓国人客はピーク時の6割にあたる約4万5千人にダウン。閉店状態となる韓国人店舗も出始めた。民宿を経営する金柄坤さん(61)は「対馬は土地や建物は安いけどビジネスは難しい」とぼやく。

島民感情も複雑だ。まさ餌を使う韓国人の釣りに反発する漁業者は多く、大量に流れ着くハンケル表記のポリ容器のごみは国家間の問題となった。島外の動きも影を落とす。08年12月、国会議員団が自衛隊基地に隣接する韓国資本のリゾート施設を訪れ、安全保障上の懸念を表明。「領土を売るな」「韓国と付き合つな」。対馬市役所には電話や手紙、メールが届く。

重要な戦略

だが、島民は魏志倭人伝の時代から海を渡り、生きてきた。人口減少が進む国内市場を考えれば、外国人客の受け入れは重要な戦略だ。対馬市は福岡市と韓国・釜山市に事務所を置き、観光物産情報を発信し続ける。



旅客船で到着した韓国人観光客。カメラを手に笑顔もこぼれる
＝長崎県対馬市・厳原港

「先人が歩んできた歴史に知恵が凝縮されている。遑う歩みはない」。財部能成市長(52)は断言する。「対馬は海に開かれた時代は豊かだった。隣国と仲良くしないとつまらない」と、海峡を見つめた。(長崎新聞社、文と写真・田中祐作)

韓国・対馬航路 韓国の大邱高速海運が釜山―対馬で週6日運航。対馬北部の比田勝港と1時間20分。南部の厳原港とは2時間20分



分で結ぶ。空路は韓国のコリア・エクスプレス・エアが昨年7月、開設。ソウル―対馬で18人乗りプロペラ機を週3日運航している。

共同通信社・地方紙 合同企画

外国人医師

国内免許なくとも診療

仙谷担当相 制度改革正に意欲

仙谷由人国家戦略担
当相は二十一日、日本
の医師免許を持たない
れば日本国内で診療が

外国の医師でも一定の
技術レベルが認められ
乗り出す考えを示し
た。「外国人の医師は

の議論でも取り上げる
よう求める。

現在、日本の試験を受
けないといけない。世
界的なレベルの医者に
失礼だ。そういうこと
は取っ払うよう仕掛け
たい」と述べた。視察
先の神戸市で記者団の
質問に答えた。

最初は、特別に地域
や医療機関を指定し規
制緩和を進める意向と
みられ、六月に策定す
る政府の成長戦略に盛
り込みたい考えだ。行
政刷新会議の規制改革

した。仙谷氏は二十一
日、神戸市内で先端医
療の研究者らと意見交
換。研究者側から厚労
省が強い権限を握って
いる現状が研究を阻害
しているとの指摘を受
けた。

また教育や街づくり
などの分野で活動する
NPOを資金面で支援
するため、無担保で低
金利融資を実行できる
金融機関の新設が必要
との認識も示した。

台湾

馬總統再選危うし？

世論調査 野党議員に「敗北」

【台北―栗田秀之】
十九日付の台湾紙聯合
報は、二〇〇八年三月
の總統選挙で馬英九總
統(五七)が当選を果たし
てから二年となるのに
合わせ、世論調査結果
を掲載した。

仮に今、總統選を行

った場合、野党民進党
の大物政治家で、元行
政院長(首相)の蘇貞
昌氏(六三)を選ぶ人が38
%に上り、29%の馬總
統は再選できない結果
となった。

実際の次期總統選は
一二年に行われる。そ

の前哨戦として、年末
には台北、高雄など主
要五市長選が行われる
が、蘇氏は台北市長選
への立候補を表明して
いる。

調査では、民進党の
蔡英文主席(五三)と馬總
統との比較もしてお

り、両者ともに33%で
互角だった。

馬總統は〇八年の總
統選で七百万票を超え
る得票で圧勝。当時、

同紙の調査で支持率は
66%に上ったが、昨年
八月の台風災害への不
手際で信頼を失い、支
持率は急降下。今回で
も27%に落ち込み、災
害直後の29%を下回っ
て過去最低を記録し
た。

「北方領土返還要求は脅威」

ボロタフキン次官は対日関係の現状について「軍事的、政治的に対話の水準が低い」と不満を述べた。また、アジア太平洋地域での外交政策として、日本よりも中国などと構成する「上海協力機構」を重視する考えを示した。

ロシアは先月発表した新軍事ドクトリンでも他国の領土返還要求を「軍事的脅威」と位置付けたが、具体的国名は挙げていない。

日ロの領土交渉は昨年七月、日本が北方領土を「固有の領土」と明記した改正北方領土問題解決促進特別措置法を成立させたこと、ロシアが反発を強め、停滞している。

同国会では、ミロノフ上院議長も、北方領土をロシア領に含まない地図を作製したロシア国内の出版社の刑事責任を問うことなどを提案。「われわれは自国の領土をだれにも渡さない」とけん制した。

全土で反プーチン集会

ロシア モスクワ、60人拘束

【モスクワ】酒井和人「インタファクス通信によると、ロシアのボロタフキン外務次官は十八日、アジア太平洋地域の安全保障に関する議会上院の会合で、日本による北方領土返還要求に対し「ロシアにとつての脅威」と異例の強い表現で懸念を表明した。

【モスクワ】酒井和人は異例だ。規模が最大だった。モスクワ、サンクトペテルブルクなど大都市部でも減税や年金増額などを求め、経済増進を主張する同首相が監視する中、プーチン政策を主導する同首相は政府から出て行に非難を浴びせた。

ロシア内務省は各地に警官や治安部隊計六千人を動員。モスクワ中心部で無許可の集会を試みた野党関係者ら約六十人を拘束した。

同省によると、二十、二十一両日で百六十二件の集会やデモが計画されている。計四万五千人が参加する見通した。

双頭政権 足元で不満拡大

【モスクワ】酒井和人は、「強いロシア」の案にしたことはあったが、実現しなかった。中心となった反体制派政治団体「連帯」のシヨリナ報道官は「プーチン首相の強権手法への不満が皆空つなげたと指摘する。」

ウラジオストクでは輸入自動車関税の引き上げで職を失った輸入業者らが、イルクーツクではバイカル湖を汚染するバルプ工場の再開に反発する環境保護団体が集会の主導。と

二十日の反政府集会もにプーチン首相が各地の野党や市民団体が連携して実施したのが特徴だ。これまでも野党などが協力を横



20日、ウラジオストクでプーチン首相の退任を求めてデモをする人たち=ロイター

【モスクワ】酒井和人は、「強いロシア」の名の下、経済不況の脱却で主要、国策企業、の救済を優先し、庶民生活を十分に顧みないプーチン流の経済運営への懸念がある。首相が率いる与党「統一ロシア」の党勢にもやや陰りがみえており、メドベージェフ大統領が政府への不満を漏らすなど、盤石とみえた双頭政権の足元で国民の不満がじわり拡大している。

二十日の反政府集会もにプーチン首相が各地の野党や市民団体が連携して実施したのが特徴だ。これまでも野党などが協力を横

「統一ロシア」が圧勝したが、得票率は40%台前半。昨年十月の前回統一選(64%)から大きく落ち込む見通しで、イルクーツク市長選では共産党推薦の候補者が勝利した。

首相と双頭体制で政権を運営するメドベージェフ大統領は十六日、政府に対し、自身の命令が十分に実行されていないと叱責。命令が滞る原因として首相の存在を指摘し、双頭内のあつれきも指摘された。

十四日に実施された統一地方選挙では与党

アフガンの地で

中村哲医師からの報告



中村哲医師

装いは異なってもアジアからの取水で潤される。の取水口が完成した。た。初め村民は、「取水口 二月十日の開通式は華

農村に共通した特徴だろ。しかし、二十年前からの建設は不可能」と信じて、心

う。日本社会の変化で分取水量が困難になった。人いた。だが、ひと夏を過温まるものがあつた。各

からなくなつたのだ。が減り、多くはパキスタ

ン側に難民化した。きても堰はびくとませ

ず、低水位でも十分に量が述べられた。村長が集い、祝意と謝辞

二〇一〇年二月八日、 思えば、水回りのこと 大モスクと付属学校 用水路・マドラサ完工

ジャララバード近郊の農 なら何でもやつた。暴れは、かつての日本の村社 式の二日後、もう一つの

村で二つの「完工式」が行 川の堰、護岸、土石流対 会での神社や鎮守の森を お祝いがあつた。カマ取

われた。一つはマルワリ 策...。加えてマドラサの 想像すれば分かりやす 水堰の完成である。堰の

ード用水路の開通、もう 建設である。これはアフ 調和を取つて生活す あるカマ郡は州内最大の

一つは地域を束ねる大モ ганиスタンの農村共同体 精神のなよりどころ 農村地帯で、七千餘の耕

スク(イスラム教の礼拝 に必要な、ほぼすべての だ。神社に参つて祈り、 地と三十万人の人口を擁

堂)とマドラサ(大モス 要素を網羅するものだ。 願を懸け、村祭りに集つ。 する。同郡はクナル川

ク付属学校)の完工であ 要要素を網羅するものだ。 願を懸け、村祭りに集つ。 する。同郡はクナル川

る。地元農民、ベシヤワ 必要要素を網羅するものだ。 願を懸け、村祭りに集つ。 する。同郡はクナル川

ール会医療サービス(P 必要要素を網羅するものだ。 願を懸け、村祭りに集つ。 する。同郡はクナル川

MS)職員、州知事ら行 必要要素を網羅するものだ。 願を懸け、村祭りに集つ。 する。同郡はクナル川

政代表が集い、喜びと活 必要要素を網羅するものだ。 願を懸け、村祭りに集つ。 する。同郡はクナル川

気がみなぎつていた。 必要要素を網羅するものだ。 願を懸け、村祭りに集つ。 する。同郡はクナル川

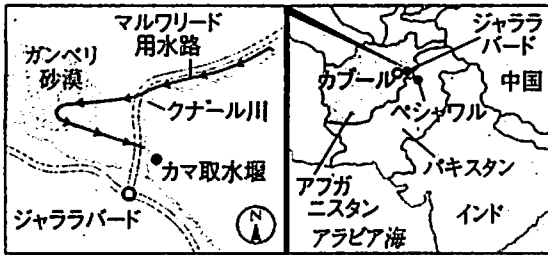
日本の伝統技術 貢献

用水路はこの七年間で 最も精力を費やした事業 だ。全長二五・五キロ、一

日送水量四十万ト、灌漑 面積三千餘。約十五万人 が既に帰農した。水路が

広がることに田園が広が り、廃村が復活する。魔 法のような光景だ。一木

一草生えなかつた荒野 は、小麦の緑と菜の花の 黄色で鮮やかに覆われて いる。



取水口の完成



2月に完工したマドラサの下校時 間の様子(ベシヤワール会提供)

夏の洪水が以前より激し スクで供養されたが、不 信感と敵意を増大させ

く、早めに訪れ、逆に洪 なる。住民はカネと労働 力を出して努力したがど うにもならなかつた。

水の後は異常な低水位に なる。住民はカネと労働 力を出して努力したがど うにもならなかつた。

解決したのが日本の伝 統的土木技術だ。捨石工 による川の全面堰上げを 「国際援助」を拒み、わ

行い、越流水量を安定さ せ、水門部は堰板で土砂 と洪水を防ぐ。タンブカ

搬には苦勞したが、二つ 望」として施工を決め ず。随時掲載します。

「アフガンの地で」は 部の役人が山分けするこ とが横行する。住民は

パキスタンやアフガニス による復興支援活動を統 づきもので、やつつけ仕 えられていた。

また、工事には汚職が 掃討作戦」が騒々しく伝 MANDO州では「大規模な

命を日本という地域が助 工事項跡で多数の引き けた、と考えているの

ちぎられたコーランが発 見され、大騒ぎとなつた。 丁寧に拾い集めてモ

りうれしかった。折から米軍の増派に続

をよよく表している。水は 最良の計画」というた

りがあつた。これはアフ 民は警戒感を隠さなかつた。特に第二取水口の外 彼らの生命線。地域の生

国軍の地方復興チームの 命を日本という地域が助 工事項跡で多数の引き

けた、と考えているの ちぎられたコーランが発

見され、大騒ぎとなつた。 丁寧に拾い集めてモ

りうれしかった。折から米軍の増派に続

22. 3. 20

北中(朝) 国際交流課

多文化生かす場に

愛知県江南市の国際交流協会
で十四年間、ボランティアの中
心となって活動を支えてきた早
瀬裕子さん(左)と同市前野町。

昨年十一月に県から「多文化共
生推進功労者」の第一号として
表彰された。

「皆さんのおか
げ」と喜ぶ。

派遣切りされ
た外国人労働者



に日本語を指導し、再就職につ
なげたケースも多い。外国人に
対する心の「壁」をなくそうと
国際理解講座も開く。「いろい
ろな場所で皆さんが自国の文化
の良さを発揮できる場をつくら
ていきたい」と張り切ってい
る。